

2 連載小説

月と日と

沢木耕太郎さん 第25回

3 サザエさんをさがして

声の郵便
街の日級言葉園鑑

4 オーサの日本探検 そろばん

歴史のダイヤグラム 吉田茂・熱海へ
それぞれの最終案章

5 知っ得 なっ得 ビジネスマナー入門

ののちゃんのDO科学
乾物がお湯で早く戻るのはなぜ?

be
on Saturday

6/7

はじまりを歩く 証明写真機

街角や駅の中の「ミニ写真館」。
機能も用途も広がっています。

連載マンガ・コロコロ毛玉日記

私のThe Best! 青木美沙子さん
みうらじゅんさん「マイ走馬灯」

9

Reライフ on Saturday

亀田誠治さん「きつと大丈夫」

10

be between 花を買ってる?

11

悩みのつぼ 回答・上野千鶴子さん

パズル 数独など

テレビ

週間番組表

上野樹里さんに聞く
内閣に挟み込まれています

新外交イニシアティブ代表・弁護士

猿田 佐世さん (46歳)

独自の外交を切りひらく

「いま必要なのは戦争を起さないうための外交です」。軍勢力が抜本的に増強されるなか、「戦争回避」を訴え、講演で国内各地を飛び回る。夏にはワシントンへ行く予定だ。コロナ前は毎年3、4回、渡米した。米軍基地、安全保障、原発などについて、米政府や議会に働きかけを行い、既存の外交ルートには乗らない日本の多様な声をワシントンに届けてきた。

アタイプ(ND)を立ち上げた。具体的な政策提言を行い、調査・研究も行う。国会議員の助成を企画し、日本議員をつないできた。小学生の頃から国連で働くのが夢だった。弁護士になつたのも国連への近道と思っただけ。日本で弁護士として国際人権を取り組んだあと、ニューヨークのコーンヒア・ローズスクールに留学。さらに09年から3年間、国際関係を学ぶためにワシントンへ。

知ったことが人生を変えた。米国には日本の一部の声しか伝わってなかった。日本でもワシントンのごく少数の知日派と呼ばれる人々の考が「米国の声」として伝わり、東京の政策決定に大きな影響を与えていた。日本の政府や大企業は知日派の属する米シンクタンクに多額の資金を提供し、強い風となる発言をしてもいい、日本メディアに報道させて「外圧」をつくり、自分が望む政策を日本で実現させていた。この仕組みを「ワシントン拡声器」と名

づけ、のちに著書に書いた。こんな外交はおかしい、何かできることはないか。まずワシントンに伝っていない沖縄の米軍普天間飛行場の辺野古移設反対の声を届けよう。と手探りで米議会に働きかけを始めた。最初は連絡先もわからなかったが、少しずつ人脈を築いていった。意見を伝えるコミュニケーション力の高さに現地の人々も舌を巻く。

自分だけが望む政策を日本で実現させていた。この仕組みを「ワシントン拡声器」と名づけて、のちに著書に書いた。こんな外交はおかしい、何かできることはないか。まずワシントンに伝っていない沖縄の米軍普天間飛行場の辺野古移設反対の声を届けよう。と手探りで米議会に働きかけを始めた。最初は連絡先もわからなかったが、少しずつ人脈を築いていった。意見を伝えるコミュニケーション力の高さに現地の人々も舌を巻く。

文林ら 写真・伊藤進之介

訪米時には巧みな英語で交渉、議論する。社会人になるまで留学したことがなかったが「話し好き、人好き」を生かして、自分で英語を身につけた。東京都新宿区

